

高度情報社会における子育て支援の新しい試みとその検証（1） ～携帯掲示板の中の母親のコミュニケーションから考える～

清 國 祐 二

はじめに

I 携帯掲示板のログ分析

- 1 掲示板ログの分析にあたって
- 2 掲示板への書き込み日時に関する分析
- 3 スレッドへの書き込み内容に関する分析

II 携帯掲示板利用者への意識調査

- 1 調査の概要と設計
- 2 調査結果の概要

まとめと考察

はじめに

急激な社会環境の変化と人びとの価値観の多様化は、子育て世代にも暗い影を落としている。育児負担の増大や育児ノイローゼ、乳幼児虐待、子育ての孤立化などの子育てをめぐる問題はもはや特殊なものではなくなり、一般的な状況となりつつある。

子育てをめぐる問題を紐解いてみると、就業女性よりも専業主婦の方がよりストレスフルな生活を送っているという調査結果がある。四六時中子どもと向き合っている専業主婦の方が子育ての悩みが深刻だというのである。育児ストレスの要因は少なくとも多忙さの度合いにあるのではなく、社会や人との関わりのチャンネル数にあるのではないかと推察される。育児経験者が「育児は気楽に、気長に。」とアドバイスすることがあるが、育児を楽しむためには親を受け止める機能が家庭や地域、職場等に備わっていることが重要となろう。

今回の実証研究は、NPO法人わははネット¹⁾の協力を得て、携帯電話の掲示板を活用した新しい形態の子育て支援を実験的に行ったものである。そこで発現する子育て支援としての効果や問題点、利用者の意識や利用実態、掲示板で交わされるコミュニケーション等を分析することを目的とした。携帯掲示板についてはすでに平成15年にわははネットにより実施された経緯がある。子育て掲示板は利用者にとって手軽で便利な反面、管理者にとっては大きな負担と、書き込み内容に対する疑問を感じるようになったようだ。一部の心ない利用者による、無責任な書き込み、挑発的な書き込み、誹謗中傷、明らかな掲示板依存症等、一般社会では許容しかねる事態が生じ、一旦は閉鎖を余儀なくされた。一方で、掲示板の必要性や効果を訴える利用者の声も届いている。書き込むまではしないが、掲示板上で交わされる情報が役に立ったり、同じような悩みを抱える母親の存在が励みや安心感につながったり、とその効果を管理者へ伝える利用者もいる。

高度情報社会によってもたらされたさまざまな情報ツールが、子育ての領域にも新しい光と影をもちこんできた。携帯掲示板のような子育て支援の方法は過去になかったことを考えると、不可欠な要素とはいえない。しかし、高度情報社会によってもたらされたコミュニケーション環境は恐らく従前の子育て支援とは別の方法を要求しているとも考えられる。事態はそう単純には語れそうにない。この問題は多角的に切り込む必要を感じるが、今回は利用者の意識と実態、および掲示板に書き込まれた内容を研究対象とした。なお、本研究は文部科学省「平成17年度ITを活用した次世代型家庭教育支援手法開発事業」の補助を受けて実施したものであることを付記しておく。

I 携帯掲示板のログ分析

1 掲示板ログの分析にあたって

2004年9月25日から掲示板が閉鎖される同年11月1日までの掲示板ログを用いて、定量的な分析を試みた。この約1か月は掲示板が閉鎖されるまでにあたり、書き込み内容に関する幾分の偏向は否めないが、大部分は概ね日常的な言葉のやりとりが行われていた。

日時を集計については、「わははネット」より提供のあった書き込みのデータベースをもとに、日時だけ拾い出しエクセルで集計した。これについてはすべてのデータをカウントできたため正確な把握ができた。言葉については、フリーソフト「茶筌」（奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科自然言語処理学講座開発）を用いて品詞分割を行い、集計を行った。細かい品詞に分けすぎたり、ソフトに内蔵される辞書に登録されていない言葉の分け方が不適切であったりというソフトウェアの機能の制約もあり、品詞分割を行った後に手作業で必要に応じて結合するなど100%の正確性が確保されているわけではないことを予め断っておく。加えて、頻出する言葉の集計は可能であったが、それぞれの言葉の関連性まで測定することはできてはいない。

掲示板に載せられたスレッド²⁾の分類については、301あるスレッドを読み込み、筆者がキーワード別にカテゴリ化し、その分類枠にしたがいそれぞれのスレッドを分類した。最後に、スレッドに見られる発言の「荒れ」の程度を探ってみた。これに関しては、読み手の主観によって随分感じ方が異なることも判明した。「荒れ」をめぐるコミュニケーション分析は情報リテラシーとの関連からも、今後の重要な研究課題となることも明らかとなった。

2 掲示板への書き込み日時に関する分析

1) 新しいスレッドが作成された日時の分布

掲示板に新しいスレッドが作成された日付とその数、時間帯とその数を集計してみみると、表1-1および表1-2のような結果となった。その特徴と傾向を見ると、新しいスレッドは平日に作成されることが多く、さらに週の前半よりも後半に作成される傾向にあることがわかる。また、時間帯で見ると、スレッドが最も頻繁に作成される時間帯は、21:00~01:00、その次が17:00~19:00あたりとなる。この背後には子どもの生活時間が反映されていると考えられる。掲示板利用者の大半は乳幼児の子どもをもつ母親である。そうすると、子どもが眠って以降の深夜までの時間、夕食の準備が概ねできてから食事までの時間などに書き込む余裕ができることが推察される。特に深夜に作成されるスレッド数が多く、日常の活動時間帯の変化が見てとれる。加えて、24時間どの時間帯をとっても必ず作成されているところにネット社会の特徴が垣間見られる。

表1-1：スレッドの作成された日付

日付	数	日付	数
9月25日(土)	1	10月22日(金)	20
10月4日(月)	1	10月23日(土)	15
10月11日(月)*	1	10月24日(日)	4
10月13日(水)	4	10月25日(月)	9
10月14日(木)	13	10月26日(火)	15
10月15日(金)	13	10月27日(水)	20
10月16日(土)	10	10月28日(木)	21
10月17日(日)	13	10月29日(金)	20
10月18日(月)	18	10月30日(土)	18
10月19日(火)	16	10月31日(日)	16
10月20日(水)	18	11月1日(月)	15
10月21日(木)	20	総計	301

*は祝日

表1-2：スレッドの作成された時間帯

時間帯	数	時間帯	数
0:00 ~ 0:59	23	12:00 ~ 12:59	14
1:00 ~ 1:59	11	13:00 ~ 13:59	17
2:00 ~ 2:59	9	14:00 ~ 14:59	14
3:00 ~ 3:59	4	15:00 ~ 15:59	13
4:00 ~ 4:59	3	16:00 ~ 16:59	16
5:00 ~ 5:59	2	17:00 ~ 17:59	19
6:00 ~ 6:59	4	18:00 ~ 18:59	20
7:00 ~ 7:59	3	19:00 ~ 19:59	11
8:00 ~ 8:59	9	20:00 ~ 20:59	14
9:00 ~ 9:59	10	21:00 ~ 21:59	23
10:00 ~ 10:59	12	22:00 ~ 22:59	20
11:00 ~ 11:59	12	23:00 ~ 23:59	18
		総計	301

2) スレッドに書き込まれた日時の分布

次に、上のスレッドに反応のあった書き込み数を、日付と時間帯によって集計して、表1-3および表1-4にまとめた。表1-1および表1-2と比較してわかるように、スレッドへの反応も平日に多く、さらに週の前半よりは後半にその数が増している。スレッドへの反応も作成されてから比較的すぐにある場合が多く、多くのスレッドは作成日から1~2日でいっぱいになっている。休日は家

族で過ごす時間が長いことが一般には考えられるため、数的には少なくなっていることが予想される。スレッドへの書き込みが最も頻繁な時間帯は、21:00からの3～4時間となっている。10:00台、13:00台、15:00台あたりも多くなっているが、スレッドの作成と同様に乳幼児期の親のひとつの特徴といえるのではなかろうか。

表1-3：スレッドへの返信数（日付）

日 付	数	日 付	数
9月25日(土)	8	10月22日(金)	117
10月4日(月)	5	10月23日(土)	31
10月11日(月)*	8	10月24日(日)	58
10月13日(水)	65	10月25日(月)	89
10月14日(木)	73	10月26日(火)	117
10月15日(金)	69	10月27日(水)	111
10月16日(土)	73	10月28日(木)	101
10月17日(日)	125	10月29日(金)	85
10月18日(月)	107	10月30日(土)	112
10月19日(火)	105	10月31日(日)	94
10月20日(水)	127	11月1日(月)	15
10月21日(木)	134	総 計	1814

*は祝日

表1-4：スレッドへの返信数（時間帯）

時 間 帯	数	時 間 帯	数
0:00～0:59	92	12:00～12:59	84
1:00～1:59	63	13:00～13:59	107
2:00～2:59	32	14:00～14:59	87
3:00～3:59	23	15:00～15:59	115
4:00～4:59	12	16:00～16:59	77
5:00～5:59	12	17:00～17:59	78
6:00～6:59	15	18:00～18:59	93
7:00～7:59	19	19:00～19:59	94
8:00～8:59	49	20:00～20:59	85
9:00～9:59	69	21:00～21:59	124
10:00～10:59	103	22:00～22:59	162
11:00～11:59	92	23:00～23:59	127
		総 計	1814

3 スレッドへの書き込み内容に関する分析

1) スレッドの表題のキーワード分類

掲示板に新しいスレッドを作成した人が、どのようなキーワードを表題（トピック）としたかを分類したものが表1-5である。301のスレッドの内、言葉の上位12位までを拾った。また表1-6はその表題に続けて書かれている、スレッドの作成者が表題の趣旨を説明した書き込みを分類したものであり、上位30位までを拾ってみた。それぞれその特徴を概観したい。

表1-5：スレッドの表題のキーワード

順位	キーワード	数
1	旦那	13
2	ファッション	11
3	ママ	10
4	受信料	9
5	保育園	8
6	教えて	7
7	好き	6
7	子供	6
9	ベビー	5
9	結婚式	5
9	予防接種	5
9	妊娠	5

表1-5から見て、表題に書かれているキーワードには「夫（旦那）」が最も多くなっており、続いて母親自身の趣味や関心となっている。トータルで見れば、掲示板本来の目的である子どもに関するキーワードが多くなっている。

表1-6には、スレッドの内容からキーワードを拾っているが、「子供」、「子」、「息子」などが目につき、育児に関する情報交換であることが再確認される。「夫」や「自分自身」、「ママ」などの親に関する言葉も多い。中でも特徴的な言葉は「ありがとう」であり、これは知りたい情報をもらえたときに自然に出てくる言葉であると考えられる。さまざまな情報交換がここで行われていることが推察される。

表1-6：スレッドの内容のキーワード

順位	言葉	数	順位	言葉	数	順位	言葉	数
1	子供	67	11	今日	19	20	保育	13
2	教えて	60	11	仕事	19	22	意見	12
3	子	41	11	息子	19	22	結婚	12
4	旦那	39	14	経験	18	22	妊娠	12
5	自分	38	14	病院	18	22	毎日	12
6	食べる	29	16	レス	16	26	ミルク	11
7	ママ	23	17	好き	15	26	昨日	11
8	ありがとう	21	17	幼稚園	15	26	受信	11
9	最近	21	19	育児	14	26	初めて	11
10	家	19	20	お願い	13	26	情報	11

2) スレッドへの書き込みすべてのキーワード分類

続いて、スレッドに書き込まれたすべての文章を、キーワード分類したものが表1-7である。膨

大な数になるので、「人物」「名詞」「動詞」「形容語」に分類した上で数の統計をとった。人物では「私」と「自分」がそれぞれ676、166となっており、一人称での書き込みが大半を占めることがうかがえる。続いて、「子供」「うちの子」がそれぞれ358、46となっており、子どもに関する話題の多さが読み取れる。「旦那」や「ママ」もそれぞれ272、116と多くなっている。

名詞はふたつに分類したが、1の方では子育てをしていく上で欠かせない情報である「病院」「保育所」「幼稚園」などの項目が並んでいるのと、「仕事」「家」「実家」などの母親を取り巻く環境についての項目が目をはく。2の方では、前後関係の影響を受けやすい言葉であるため意味付けが難しいが、「ありがとう」が140あることから、情報の交換がある程度頻繁に行われていたものと推察される。

動詞や形容語（形容詞と形容動詞）に目をやると、子どもの成長の過程で気に掛かる、基本的な生活習慣に関する言葉が並んでいるようだ。子どもの成長は「食べる」「分かる」「寝る」から「考える」「知る」「書く」などへ移行するわけで、言葉を見るだけでも興味深い。また、「良い」「悪い」などしつけの部類に入る言葉から、「心配だ」「大変だ」「不安だ」といった育児不安的なもの、「本当だ」「大丈夫だ」「確かだ」といった不安の解消に相当する言葉など子どもを介した母親のコミュニケーションあり方がわかるものとなった。

表1-7：スレッドの内容のキーワード（種類別ベスト10）

順位	人 物	数	順位	名 詞 1	数	順位	動 詞	数
1	私	676	1	服	74	1	食べる	127
2	子供	358	2	仕事	72	2	好き	89
3	旦那	272	3	病院	58	3	分かる	89
4	自分	166	4	家	62	4	考える	88
5	ママ	116	5	結婚	59	5	知る	86
6	みんな	82	6	意見	54	6	払う	75
7	女	65	7	実家	49	7	買う	72
8	友達	57	8	保育所	45	8	書く	73
8	親	57	9	妊娠	43	8	教える	68
10	うちの子	46	10	幼稚園	41	10	寝る	60

順位	形 容 語	数	順位	名 詞 2	数
1	良い	86	1	うち	200
2	悪い	59	2	今	198
3	心配だ	57	3	レス	171
4	早い	55	4	ありがとう	140
5	本当だ	53	5	気持ち	72
6	安い	48	6	感じ	57
6	大丈夫だ	48	6	最近	57
8	大変だ	47	8	時間	50
9	確かだ	46	9	トビ	43
10	不安だ	44	10	今日	36

3) スレッドそのものの類型化

上述の通り、約1か月の間に301のスレッドが作成された。それぞれの内容を検討して、結果的に13のカテゴリーを設定し、スレッドの分類を行ったものが表1-8である。

「子どもの成長・発育・育児に関する内容」が42と最も多く、「子どもの健康に関する内容（病院・病気・定期検診等）」と「掲示板運営に関する内容」がそれぞれ28とそれに続いている。掲示板運営に関しては、閉鎖直前のログということもありイレギュラーの感は否めないが、概ね子どもの成長や健康に関する書き込みが多いことがわかる。

「家庭や家計に関する内容」と「夫や夫婦に関する内容」がそれぞれ27、26となっていたり、「本人（母親）の趣味に関する内容（ファッション・雑誌・ショッピング等）」と「本人（母親）の健康に関する内容（病気・体調不良・病院等）」がそれぞれ20、18となり、本人やパートナー、家庭などの生活の基盤となる事項にも話題が集まっている。

全体的に見ると、「子どもの成長発達や健康、学校」など子育てに関する内容、「母親の趣味や健康」など本人に関する内容、「夫や家庭、親族・親戚」など家族とその周辺に関する内容、そしてその他の内容と、3つの主要な内容とその他に区分される。

表1-8：スレッドの分類

カテゴリー	総数
夫や夫婦に関する内容	26
子どもの保育・学校に関する内容（幼稚園・保育園・小学校・学童保育等）	17
子どもの健康に関する内容（病院・病気・定期検診等）	28
子どもの成長・発育・育児に関する内容	42
子ども関連の商品・グッズに関する内容	17
本人（母親）の趣味に関する内容（ファッション・雑誌・ショッピング等）	20
本人（母親）の健康に関する内容（病気・体調不良・病院等）	18
家庭や家計に関する内容	27
日用品等の商品に関する内容	10
親族・親戚に関する内容（実家・義父母・親戚づきあい等）	12
直近のニュースに関する内容（災害・戦争・受信料等）	20
掲示板運営に関する内容	28
その他	36

4) スレッドの荒れの分類と程度

掲示板を運営していて最も頭を悩ませることのひとつに「荒れ」がある。表情のないテキストでのやりとりのため、また言葉のやりとりにタイムラグが発生するため、誤解が生じやすいというのが掲示板の特徴である。では、子育て掲示板ではどのような荒れが生じているのだろうか。301のスレッドを分析することによって、その傾向について把握してみたい。

表1-9はスレッドの荒れを分類したものである。301のスレッドの内、荒れが感じられるものは54あり、「扇動型（「荒れ」を肯定したり、煽ったりする内容）」と「個人（内容）攻撃型（強い否

定・誹謗中傷・過度な押しつけ等)」がそれぞれ30、29となっている。しかもこの組み合わせが圧倒的に多く、荒れの大多数はある「きっかけ」をもとに他者が煽るという構図になっているようだ。

表1-10はスレッドの荒れの程度をまとめたものである。「気にはなるものの許容範囲」が最も多く、23となっており、荒れの約4割はそれほど心配のない内容と考えられる。「勘違い・誤解・行き違い（不幸な状況）」が30とそれに続いているが、このような事態を招かないための手だてが必要となってくるだろう。それはITリテラシーの一環だろうと思うが、利用者のモラルを高めることこそ、荒れを回避する最良の方法だと考えられる。最もひどい「見る（読む）に堪えない」ものも11認められた。もっとも、荒れの判断は受け取る個人によって異なるので、一律に線引きをすることが困難である。管理者が対応を誤ると収拾がつかなくなることも少なくないようだ。

通常の間人社会やコミュニティを考へてもなにがしかのトラブルは発生しているわけで、人間の読み書きする掲示板でも当然想定されることである。しかし、罵り合うような見るに堪えない荒れの比率は掲示板の方が経験的に多く発生するようである。ある意味それも掲示板利用者の成長の過程であるともいえるが、一方で予防可能なものであれば、予め対応策を考へておきたい。掲示板でのコミュニケーション分析をさらに深め、誤解を生じやすい言葉や言い回し、荒れやトラブルを回避するに効果的な「言葉掛け」などを究明する必要性を強く感じるところである。

表1-9：スレッドの荒れの分類

カテゴリー	総数
個人（内容）攻撃型（強い否定・誹謗中傷・過度な押しつけ等）	29
反社会・非社会型（社会通念に反する内容・違法またはその恐れのある内容等）	3
扇動型（「荒れ」を肯定したり、煽ったりする内容）	30
不快型（上記以外の常識的に不快感をもたせる内容等）	6
その他	11
荒れが感じられるスレッド数	54

（複数にカウントしたため合計は54にならない）

表1-10：スレッドの荒れの程度

カテゴリー	総数
見る（読む）に堪えない	11
勘違い・誤解・行き違い（不幸な状況）	20
気にはなるものの許容範囲	23
よくあること（放っておいても構わない）	0
荒れが感じられるスレッド数	54

〈注〉

- 1) 平成10年4月に子ども遊びを中心に活動していた育児サークルから、子育て支援のための情報発信を目的とした育児サークル「わはは（輪母）net」へと発展する。子育て支援のためのさまざまな事業を先駆的に手がけている。（香川県初の手作り育児情報誌『おやこDEわはは』、親子のいこいの広場である「わははひろば坂出・高松」、携帯電話を利用した子育て情報配信サービス「わははメール」、
「子育て応援タクシー」等。）平成14年よりNPO法人。代表は中橋恵美子氏。
- 2) スレッド本来の意味は「糸」や「脈絡」である。IT用語としては、ひとつの話題に属する複数の発言をとりまとめたもの、と解される。この掲示板では、ひとつの話題（トピック）に最大10の発言が可能となるよう設定されていた。

II 携帯掲示板利用者への意識調査

1 調査の概要と設計

本調査は、NPO法人わははネットの協力を得て、実験的に運用していた携帯掲示板を閉鎖した約2週間後に実施したものである。特に、掲示板の利用実態やそれへの満足度、必要性などの意識を調査することを目的とした。

1) 調査の仕様

① 調査対象者

平成18年1月10日現在、「わははメール」に登録している1,884名の会員すべてを対象とした。

② 調査の方法

「わははメール」の会員に対し、メールにて調査への協力を呼びかけた。回答はインターネット上のページで行い、回答後返信してもらった。

③ 調査期間

平成18年1月10日10:00から平成18年1月15日14:00まで

④ 調査の回収

配信総数	1,884		
調査回収総数	435	回収率	23.1%
有効回答数	434	有効回答率	23.0%

⑤ 調査票の内容

表2-1の通り、回答者の属性、3つの大項目、10の小項目で構成されている。

表 2 - 1 携帯掲示板利用者への意識調査の内容構成

大 項 目	小 項 目	属 性
I 利用実態	① 閲覧頻度 ② 書き込み頻度	年 齢
II 掲示板への満足度	③ 「育児相談」掲示板の満足度 ④ 「ねえねえ聞いて」掲示板の満足度 ⑤ 「友だち募集」掲示板の満足度	仕 事
III 掲示板の必要性	⑥ 掲示板の意味 ⑦ 掲示板の必要性 ⑧ 掲示板が必要な理由 ⑨ 掲示板が必要でない理由 ⑩ 掲示板の継続の是非	子どもの数 末子の年齢

2) 回答者の属性

① 年齢

年齢の内訳では、「30～34歳」が197名（45.4%）と最も多く、続いて「25～29歳」が110名（25.3%）、「35歳以上」が91名（21.0%）となっている。30歳代が全体の3分の2を占めていることなど、一般に指摘される晩婚化がこの数字からも推察されよう。

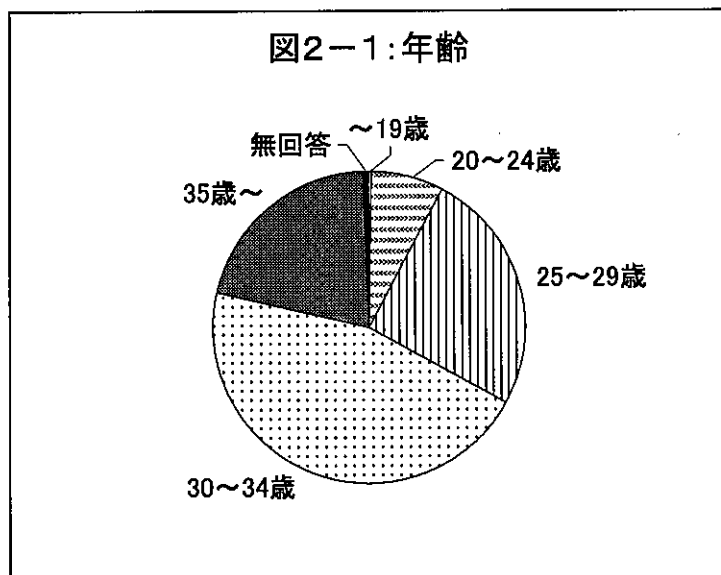


表 2 - 2 : 年齢

	回答数	パーセント
～19歳	1	0.2
20～24歳	33	7.6
25～29歳	110	25.3
30～34歳	197	45.4
35歳～	91	21.0
無回答	2	0.5
合計	434	100.0

② 仕事

仕事やその形態では、「専業主婦」が290名（66.8%）と全体の3分の2を占め、続いて「フルタイム」が76名（17.5%）、「パートタイム」が65名（15.0%）となっている。回答者の3分の2が30歳代であることを考慮すると、やや専業主婦の比率が高いことが指摘できよう。「わははメール」に登録する母親の家庭環境（都市部在住、通勤族、実家との距離）などの要因が考えられる。

図2-2:仕事

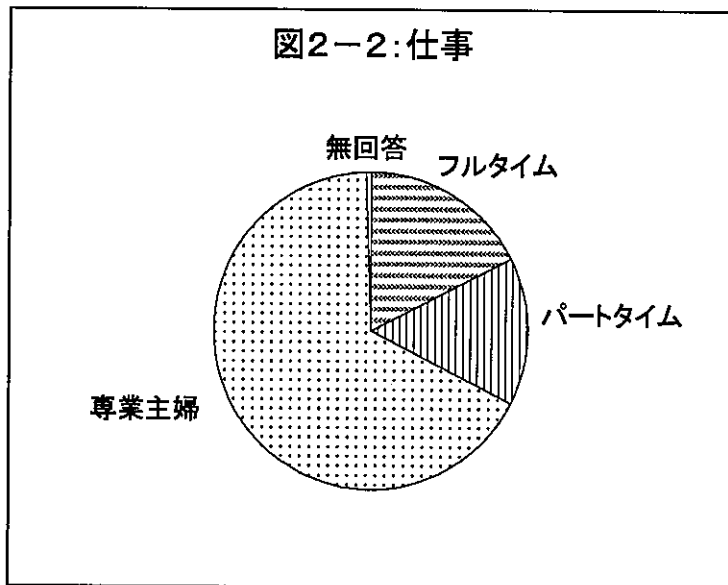


表2-3:仕事

	回答数	パーセント
フルタイム	76	17.5
パートタイム	65	15.0
専業主婦	290	66.8
無回答	3	0.7
合計	434	100.0

③ 子どもの数

子どもの数では、「ふたり」が203名（46.8%）と全体の約半数を占め、続いて「ひとり」が187人（43.1%）となっている。「ふたり」と「ひとり」をあわせると全体の約9割を占めている。現在「ひとり」や「ふたり」という数字をもって断定することはできないが、少子化の傾向がある程度読み取れる。一方で、携帯掲示板でのやりとりを通して、妊娠出産に影響が出る可能性も考えられよう。

図2-3:子どもの数

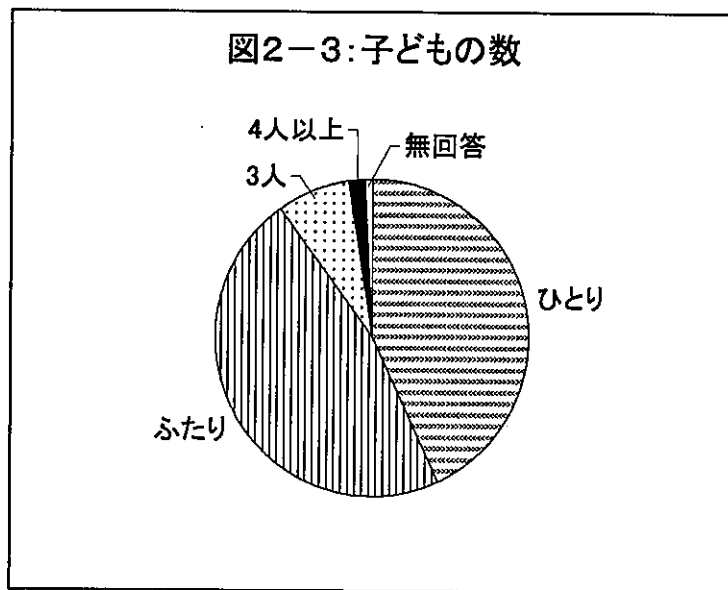


表2-4:子どもの数

	回答数	パーセント
ひとり	187	43.1
ふたり	203	46.8
3人	33	7.6
4人以上	7	1.6
無回答	4	0.9
合計	434	100.0

④ 末子の年齢

末子の年齢（ひとりの場合はその子の年齢）では、「1歳」が120名（27.6%）、「1歳未満」が112名（25.8%）、「3歳以上」が102名（23.5%）、「2歳」が95名（21.9%）となっている。子育てに不安を感じやすい2歳未満が半数を超える一方、3歳以上の回答者も4分の1程度にのほるのも特徴的である。

図2-4: 末子の年齢

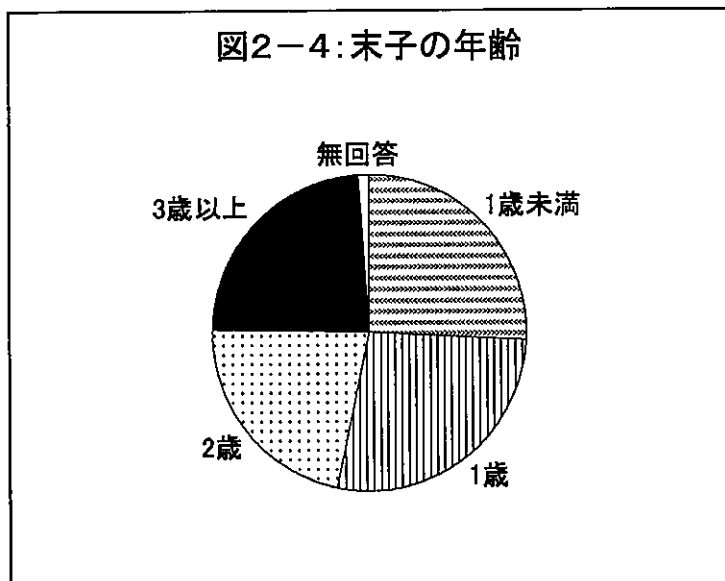


表2-5: 末子の年齢

	回答数	パーセント
1歳未満	112	25.8
1歳	120	27.6
2歳	95	21.9
3歳以上	102	23.5
無回答	5	1.2
合計	434	100.0

2 調査結果の概要

1) 携帯掲示板の利用経験

携帯掲示板の閲覧頻度を尋ねたところ、「見ない」は56名(12.9%)となっており、回答者の大半が何かしらの形で利用している実態が明らかとなった。利用の頻度では、「不定期」が157名(36.2%)、続いて「ほぼ毎日」が138名(31.8%)となっている。利用している人を分母とした場合、「ほぼ毎日」の回答は36.5%となる。

図2-5: 携帯掲示板の利用頻度

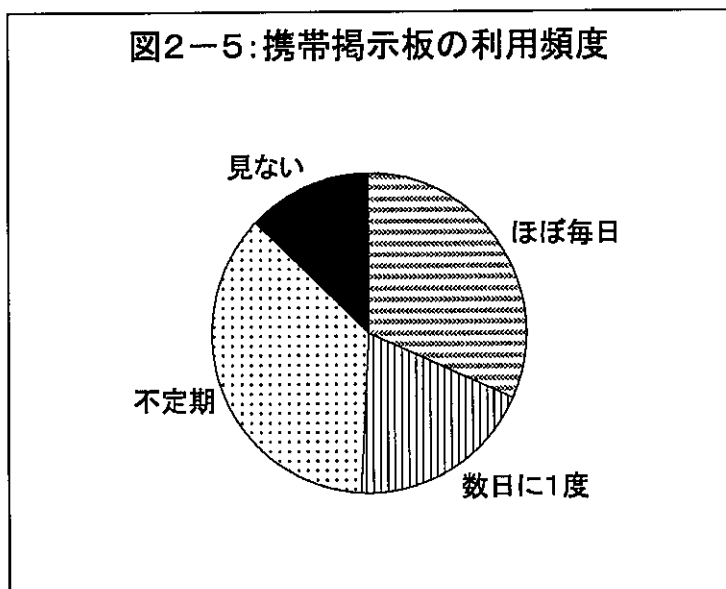


表2-6: 携帯掲示板の利用頻度

	回答数	パーセント
ほぼ毎日	138	31.8
数日に1度	83	19.1
不定期	157	36.2
見ない	56	12.9
合計	434	100

2) 携帯掲示板の書き込み頻度

携帯掲示板の書き込み頻度を尋ねたところ、「書き込んだことがない」が231名(53.2%)で最も多く、半数強を占めている。他の掲示板にも同様のことがいえるが、ROM (Read Only Member) 会員の比率の方が実際に書き込む会員を上回っていることが窺える。書き込みの頻度は、「不定期」が121名(27.9%)で最も多く、「数日に1度」が44名(10.1%)、「ほぼ毎日」が37名(8.5%)となっている。書き込みについては、掲示板での言葉の遣り取りのため、「不定期」になることは十分予測される。

図2-6: 携帯掲示板の書込頻度

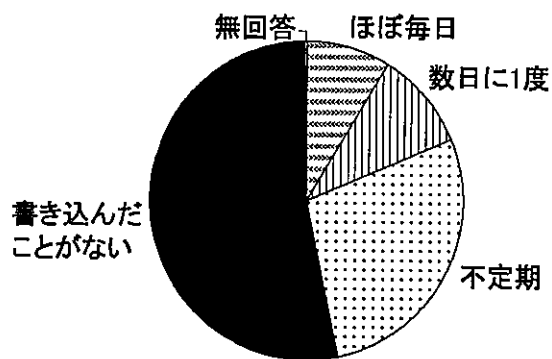


表2-7: 携帯掲示板の書込頻度

	回答数	パーセント
ほぼ毎日	37	8.5
数日に1度	44	10.1
不定期	121	27.9
書き込んだことがない	231	53.2
無回答	1	0.2
合計	434	100

3) 掲示板の満足度

① 「育児相談¹⁾」の満足度

「育児相談」の掲示板に対する満足度を尋ねたところ、「どちらともいえない」が232名（53.5%）と最も多く、半数以上を占めた。続いて「満足」が150名（34.6%）、「とても満足」が37名（8.5%）となっており、回答者の43.1%は現状に肯定的であった。一方、「不満」、「とても不満」の回答についてはあわせて2%にとどまった。育児相談については、質問から回答まで最大1週間かかるということで、相談数は少なくなることを予想していたが、結果的に予想を上回る177の質問が寄せられた。相談内容の質はともかく、その気軽さと専門家による丁寧な回答が影響したことは間違いないであろう。

図2-7: 「育児相談」掲示板の満足度

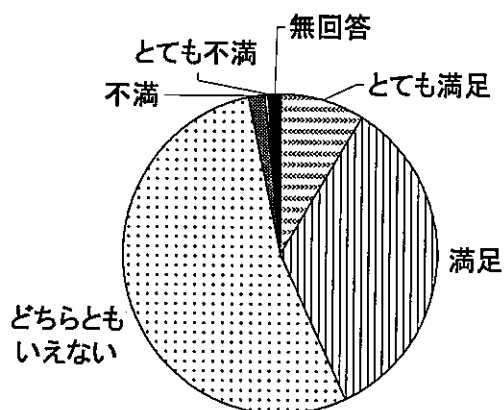


表2-8: 「育児相談」掲示板の満足度

	回答数	パーセント
とても満足	37	8.5
満足	150	34.6
どちらともいえない	232	53.5
不満	8	1.8
とても不満	1	0.2
無回答	6	1.4
合計	434	100

② 「ねえねえ聞いて²⁾」の満足度

「ねえねえ聞いて」の掲示板に対する満足度を尋ねたところ、「満足」が179名（41.2%）と最も多かった。「とても満足」65名（15.0%）の回答の割合をあわせると、その数値は半数以上（56.2%）となっている。「どちらともいえない」は172名（39.6%）であった。本掲示板がさまざまな

情報交換の場としての役割を担っていたことから、高い満足度に繋がったと考えられる。

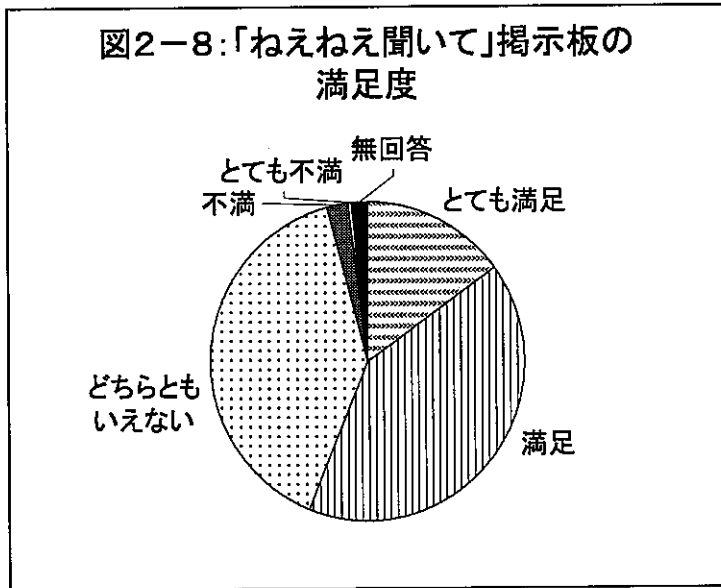


表2-9:

「ねえねえ聞いて」掲示板の満足度

	回答数	パーセント
とても満足	65	15
満足	179	41.2
どちらともいえない	172	39.6
不満	10	2.3
とても不満	1	0.2
無回答	7	1.6
合計	434	100

③ 「友達募集³⁾」の満足度

「友達募集」の掲示板に対する満足度を尋ねたところ、「どちらともいえない」が275名(63.4%)で最も多くなっており、全体の約3分の2を占めている。肯定的な選択肢である「満足」と「とても満足」の回答は、それぞれ82名(18.9%)と45名(10.4%)であり、あわせて約3割にとどまった。設置した掲示板の内、友達募集への書き込みが最も多くなっていたことを考慮すると、掲示板のにぎわいと満足度は必ずしも一致しないことがわかる。友達募集という趣旨が影響して、仲間指向が強く、入りづらさを感じさせてしまったとも察せられる。

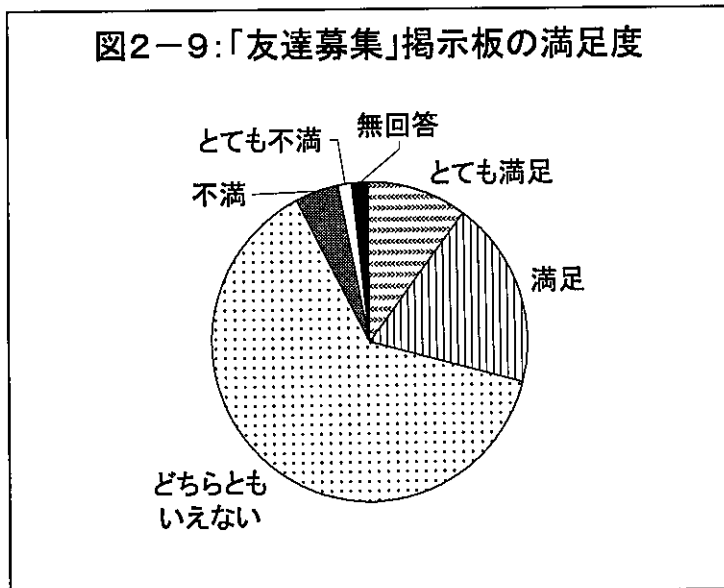


表2-10:「友達募集」掲示板の満足度

	回答数	パーセント
とても満足	45	10.4
満足	82	18.9
どちらともいえない	275	63.4
不満	19	4.4
とても不満	6	1.4
無回答	7	1.6
合計	434	100

4) 携帯掲示板の存在

利用者にとって携帯掲示板がどのような存在であるかを尋ねたところ、「情報入手」が304名(70.0%)と最も多かった。情報収集のツールとしてはある程度の有効性をもっていたことが窺える。「不安の解消」が187名(43.1%)、「気晴らし」が173名(39.9%)、「人とのつながり」が116名(26.7%)、「暇つぶし」が95名(21.9%)とそれに続いた。「その他」の中の自由記述には「子育てをし

ている同世代の人達がどんな事を感じたり考えたりしているのか知る場所」という意見や、利用していない人にとっての掲示板の存在として「最初は見えていたけれど、必要を感じなくなった」といった回答があった。

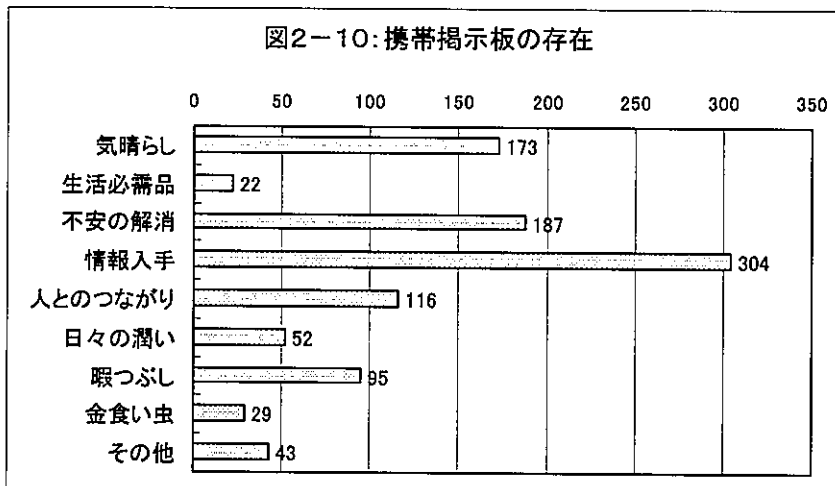


表2-11: 携帯掲示板の存在

	回答数	パーセント
気晴らし	173	39.9
生活必需品	22	5.1
不安の解消	187	43.1
情報入手	304	70
人とのつながり	116	26.7
日々の潤い	52	12
暇つぶし	95	21.9
金食い虫	29	6.7
その他	43	9.9

表2-12: 携帯掲示板の存在の自由記述代表例

- ① 他の子育てをしている母親の考えや悩みを知る機会という内容
子育てをしている同世代の人達がどんな事を感じたり考えたりしているのか知る場所
- ② 掲示板を利用しない、必要ないという内容
最初は見えていたけれど、必要を感じなくなった。みたい気はするけど、はまってしまって子供と過ごす時間の質が下がりそうなので、アクセスしなかった

5) 携帯掲示板の必要性

① 携帯掲示板の必要度

掲示板の必要度を尋ねたところ、「やや必要」が198名（45.6%）で最も多く、続いて「とても必要」の82名（18.9%）となっている。必要だとする回答が、全体のおよそ3分の2を占める。一方、「あまり必要でない」は68名（15.7%）、「必要でない」は26名（6.0%）であった。

図2-11:携帯掲示板の必要度

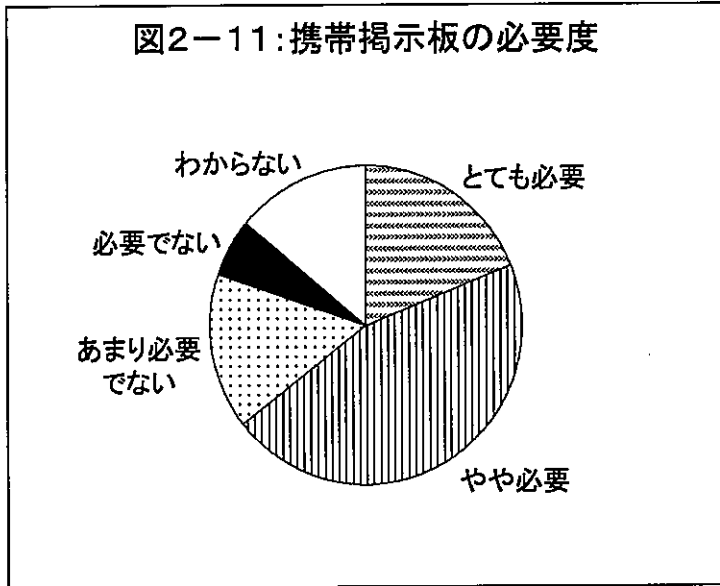


表2-13:携帯掲示板の必要度

	回答数	パーセント
とても必要	82	18.9
やや必要	198	45.6
あまり必要でない	68	15.7
必要でない	26	6
わからない	60	13.8
合計	434	100

② 掲示板が必要な理由

掲示板が必要な理由を尋ねたところ、280名（87.6%）が必要な理由をあげている。その内訳は、「気分転換の手段が必要だから」が187名（49.2%）と最も多くなっている。子育ては母親にとってストレスフルなもので、その解消の場として掲示板が利用されていることがわかる。続いて「同じ境遇の友達が欲しいから」が128名（33.7%）、「自分のペースで人とつながってほしいから」が115名（30.3%）となっている。「その他」の中の自由記述をまとめると、「現在進行形のリアルな育児情報が得られるから」といった便利な経験者からの情報入手手段、聴覚障害者にとっての有益なツール、「自分だけではないと元気が出るから」といった内容になっている。

図2-12:携帯掲示板が必要な理由

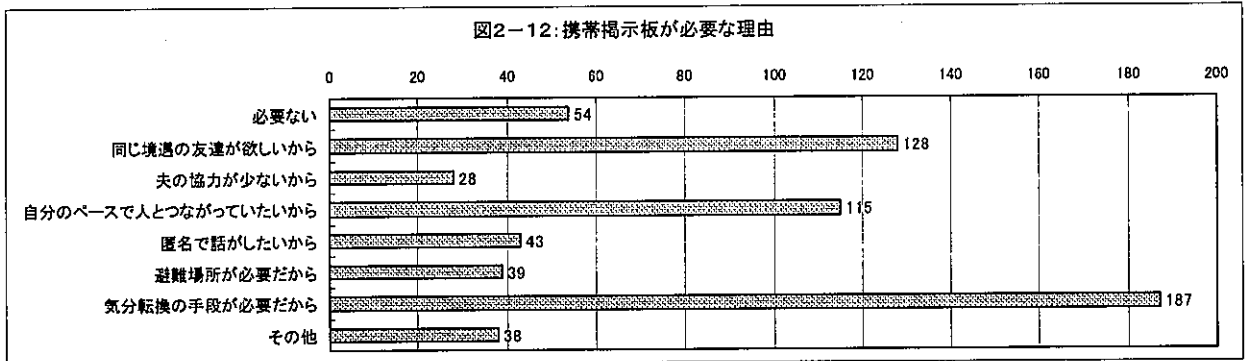


表2-14：携帯掲示板が必要な理由

	回答数	パーセント
必要ない	54	—
同じ境遇の友達が欲しいから	128	45.7
夫の協力が少ないから	28	10.0
自分のペースで人とつながっていたいから	115	41.1
匿名で話がしたいから	43	15.4
避難場所が必要だから	39	13.9
気分転換の手段が必要だから	187	66.8
その他	38	13.6

注) パーセント表示は携帯掲示板の必要度の問いに「とても必要」および「やや必要」と回答した280名を分母としている。

表2-15：携帯掲示板が必要な理由の自由記述代表例

<p>① 手軽でローカルな情報の入手手段という内容 誰に聞けばいいかわからないことやちょっとしたこと、くだらないことでも広く聞くことができる。全国の掲示板もあるが、身近な情報をもらえるというわははの掲示板の方が親近感があり好き。</p> <p>② 経験者からの意見を得られるという内容 現在進行形のリアルな育児情報が得られるから、子育ての悩みについて育児書やお役所の返事ではなく、生の意見がリアルタイムで聞きたいから。</p> <p>③ 聴覚障害者にとっての有益なツールという内容 自分が聴覚障害者なので生活していく上で不便なことが多いが、この掲示板に出会ってからいろんな情報など手に入れ、それなりに助かっているし、私にとってはありがたい存在だと思っている。</p> <p>④ 自分あるいは自分の子どもだけではなく前向きになれるという内容 うちの子だけでない安心感がある。書き込むほどではない悩みやストレスがあるとき、他の人も同じような事であらうと知ると、自分だけではなくと元気が出るから。</p>

③ 携帯掲示板が必要でない理由

携帯掲示板が必要でない理由を尋ねたところ、「掲示板の管理に限界があると思うから」が40名（42.6%）、「時間とお金の浪費」が36名（38.3%）、「子育て、家事がおろそかになるから」が26名（27.7%）、「依存症になるから」が23名（24.5%）となっている。「その他」と答えた回答者も35名（37.2%）にのぼり、携帯電話の掲示板であることからくる利用のしづらさや得られる情報の信頼性に関する内容、特定の人が利用しているといった意見や情報の悪用を心配する内容となっていた。

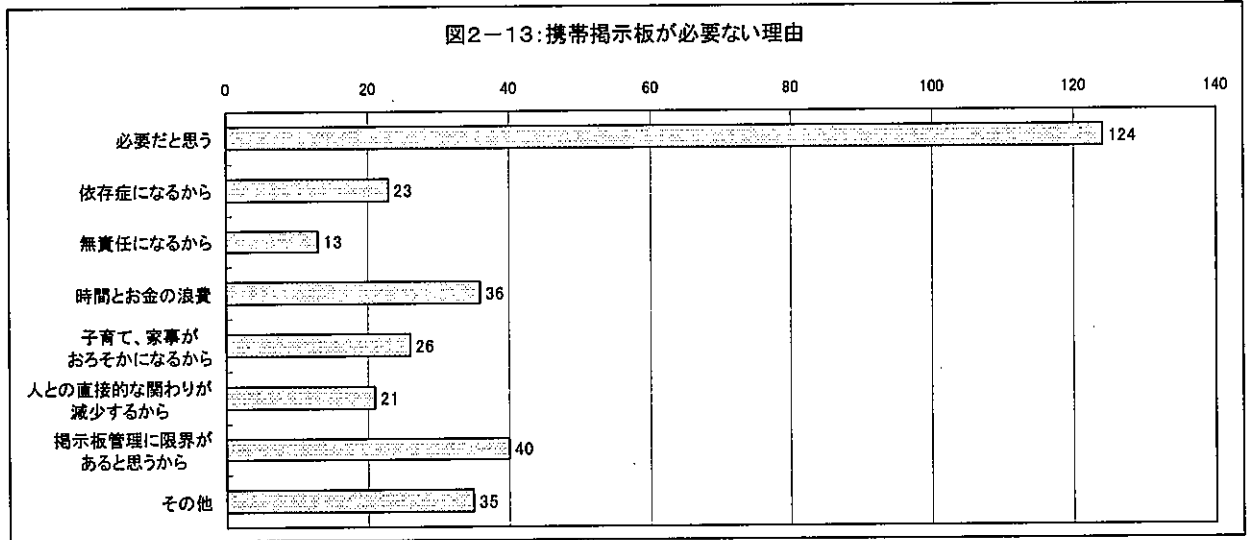


表2-16:携帯掲示板が必要ない理由

	回答数	パーセント
必要だと思う	124	—
依存症になるから	23	24.5
無責任になるから	13	13.8
時間とお金の浪費	36	38.3
子育て、家事がおろそかになるから	26	27.7
人との直接的な関わりが減少するから	21	22.3
掲示板管理に限界があると思うから	40	42.6
その他	35	37.2

注) パーセント表示は掲示板の必要度の問いに「必要でない」および「あまり必要でない」と回答した94名を分母としている。

表2-17:掲示板が必要な理由の自由記述代表例

- ① 携帯の掲示板であることの利用しづらさに関する内容
携帯の掲示板は見にくいから。パソコンと違って欲しい情報を探すのに時間がかかるから(1ページ分見られる情報が少ないため)。
- ② 得られる情報の信頼に関する内容
顔を知らない人の意見は無責任であり参考にならないと思っているので、直接会って話す人を増やした方が良いと思うから。参考にはなるが、結局友人や親と話したほうが納得できるから。その発言は信頼できる情報なのか?管理がいい加減だと発言に信用性がもてない。
- ③ 子どもとのふれあいを大切にしたいという内容
携帯ばかりいじって、子どもとのふれあいが少なくなったのは事実。復活してほしい反面、ほしくないとも思う。ひとりぼっちで悩んでいるママが、ひとりでも救われることができるなら、存在意義は十分あるといえますが、逆にアクセス時間を使って他のことができるのでは?子どもと思いきり向かい合えるのではとも。

④ 特定の人の利用に関する内容

特定の人の片寄った意見が多いと感じました。いつも決まった人しか発言せずなんだか入りにくいから。

⑤ 情報の悪用を危惧する内容

友達募集でも会話の中で個人情報丸出しだから悪用されると思う。中傷や陰口に利用されそうで。

6) 携帯掲示板の継続

携帯掲示板の継続の是非を尋ねたところ、「できれば継続して欲しい」が219名（50.5%）、「是非継続して欲しい」が120名（27.6%）となっている。全体の8割弱が継続を希望している。

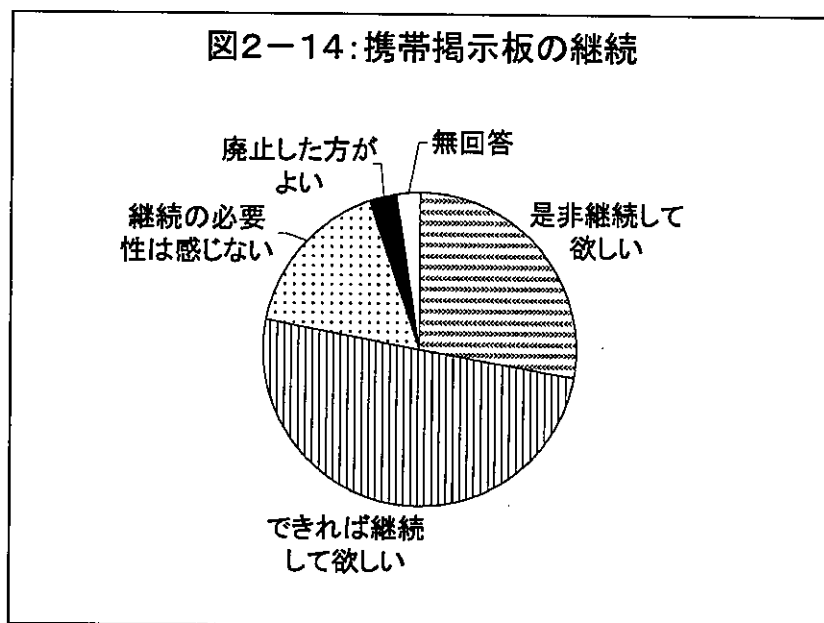


表2-18: 携帯掲示板の継続

	回答数	パーセント
是非継続して欲しい	120	27.6
できれば継続して欲しい	219	50.5
継続の必要性は感じない	72	16.6
廃止した方がよい	12	2.8
無回答	11	2.5
合計	434	100.0

注)

1) 「育児相談」とは、子育てに関する素朴な疑問について、子どもや親との接触の機会を豊富にもつ専門家に回答をいただくことを目的とした掲示板である。回答を読むことによって、質問者だけでなく、多くの母親が子育てをじっくりと振り返るきっかけになればよいと考えて設置した。

- 2) 「ねえねえ聞いて」とは、子育てにストレスを感じている母親が他愛もない話題も含めて交流ができることを目的とした掲示板である。他のふたつの掲示板に比べて、大きな自由度をもたせた。
- 3) 「友達募集」とは、掲示板の遣り取りを通じて仲良くなった後に、直接会ったり、約束を取り付けることを目的とした掲示板である。

まとめと考察

携帯電話を端末として子育て掲示板を開設したわけであるが、この掲示板が子育て支援策としてどれほどの有効性をもちえるのか、正直なところ筆者は疑問に感じている。ITを活用した新しいタイプの子育て支援の実験的運用を通して管見できたことをいくつか示すことによってまとめとしたい。

平日昼間に親子が公園にいる姿を見かけるが、親が携帯電話の画面に目をやり文字入力をしている傍らで子どもが遊んでいる光景に出くわしたことがある。子どもが母親に声をかければ反応しているようであるが、親の方から進んで一緒に遊ぶことは少ないように見受けられた。せつかく親子で時空間を共有しているにも関わらず、親の方は透明なカプセルに閉じ籠もり、姿だけ子どもに見せるのである。少子化の進行は親子の関係を密にしてもよさそうなものであるが、逆に子どもの愛情不足が指摘されたりする。時空間は共有しているのかも知れないが、実際の関係は希薄になってきたのかも知れない。スキンシップや目線をあわせることは思った以上に重要であり、子どもの安定的な情緒の発達を考えると、今回の実験的に行った携帯掲示板の運用にはよほどの注意を払う必要があることを感じた。

携帯掲示板に書き込まれる時間帯は、24時間営業のコンビニのようにいつでも誰かが書き込んでいる。アクセス数で考えるとその何倍もの人たちが掲示板を24時間いつでも利用していることになる。掲示板の利用にのめり込むと生活時間が乱れることが容易に予想される。昨今、食育が社会の関心事となっており、朝食をとらない子どもがクローズアップされているが、乳幼児をもつ親の生活時間の乱れが食事を作らない親を作り出しているとすればゆゆしき問題である。人間は弱い部分をもっているため、さまざまところで依存症が生まれてしまう。子育て支援のための掲示板がネット依存症を結果的に生み出すとするのであれば、その事態は憂慮すべきことであり、節度のある利用を促すために一定の規制が必要ではないだろうか。

子育てへの不安やストレスは高度情報社会が進んでも一向に軽減される気配はない。特に乳幼児期の子育てや第一子の子育ては不安がつきまとい、ややもすると孤立化しがちである。周囲に人がいないわけではないが、それは悩みを打ち明けたり相談できる存在ではなく、子育ての緩衝材やクッションとはなりえないようである。今回の調査の中で、掲示板のような仮想空間の中で、かつ匿名であれば本音が出せるといふ記述があった。掲示板利用の頻度もそれを物語っているのかもしれないが、信頼関係が築けたから本音で相談できるのではないという態度が垣間見られた。この場合、親たちは相談というよりは、愚痴をこぼして、それに対する反応を期待することに主眼をおいているようである。意見や批判されたくないし、傷つきたくもない。この心性に現代の子育てやコミュニケーションを読み解くヒントがあるように感じた。

本研究は緒についたばかりであり、今後ますます多様なアプローチから課題に迫る必要がある。中でもコミュニケーション研究はあらゆる研究の基礎となるであろうことが確信できた。掲示板の詳細なログ分析を通し、さらに研究を深めたい。